

コロナで、大名に遊びに行きたくても行けないからとても悲しいです・・・。

・・・と、お客様からとても嬉しいお言葉をいただきました。そこで今回は、大名店舗を案内させていただきます。

入り口から入って右側にずらりと鎧が並んでいます。只今こちらに並んでいるのが13両。また、展示している鎧以外にも常時沢山の鎧があります。



① まずは玄関! こちらが入口です。



私が好きな鎧は、和歌山城にも展示されていたこちらの具足
つこくしつめりきんばくおしこんいとどしにまいどうくそく
「鉄黒漆塗金箔押紺糸織二枚胸具足」
時代は江戸。状態も良く、和歌山城にも展示されていた鎧です。金の鎧ですが派手派手しくなく、シュツとしたカッコいい鎧だと思います。

ガラスケースの中には鎧がずらりと並んでいます。種類、サイズも豊富なのでお気に入りの商品が見つかるかも。



④ コロナが終息し、落ち着いたらぜひ大名へお越し下さい。目で見て触れて、貴方様だけの特別な宝物を探しに来て下さい。大名一同、心よりお待ちしております。



③ ガラスケースの上には兜がずらりと並んでいます。気に入った兜へ前立をカスタマイズするのもいいですよ。



⑤ 中央に机と椅子があります。貴方様とのくつろぎスペースです。甲冑に囲まれながら、時間を忘れて一緒にタイムスリップしてみませんか? 気分は、部下を従えた戦国大名!

経営理念 有限会社大名は「届けますっ大和魂!」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し、貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します

夏といえば! 五節句*のーつ「七夕」

(*1/7七草の節句、3/3桃の節句、5/5端午の節句、9/9菊の節句)

こんにちは、島谷貴子です。暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか? 昼間より、すこし涼しくなる夏の夜空を見上げながら、子供たちと織姫様と彦星様に思いを馳せてみました。

奈良時代に中国から伝わった七夕と、日本にある「棚機津女の伝説」*が合わさって出来たとされています。初めは宮中行事として裁縫・機織りの上達を願い、梶の葉に書いていました。その後、江戸時代に正式にご節句となりました。庶民の間に広がり、五色の短冊に色々な願いを書いて笹につるし、星に祈るお祭りへと変わっていきました。
* 天から降りてくる水神に捧げる為に神聖な布を織り、水辺で水の神を迎えた女性が禊をし、神は町や村に豊穡をもたらす厄災を持ち去るといわれている。



七夕って年に一度のデートをするおひめ様とおひこぼし様のことでしょ?



三女

皆様、織姫様と彦星様の伝説をご存知ですか? 色々な国や地域で語られている伝説ですが、今回ならロマンティックな伝説を取り上げてみました。天の神様の娘の織姫様は、なりふり構わず毎日一生懸命働いていました。そんな娘が不憫でならなくなった神様は、婿探しを始めました。真面目な若者の彦星様と出会い、娘を幸せにしてくれるだろうと思い、結婚させました。二人はとても仲良く暮らしましたが・・・
今までの二人の真面目さが一転、仕事もせず毎日遊んで暮らすようになりました。神様が働くように伝えても、遊んでばかりいました。怒った神様は、二人を引き離してしまいました。悲しみに暮れた二人は、ますます働かなくなりました。どうしたものかと思い、もし毎日以前のように働くなら、年に一度の7月7日に会えるように約束をしました。すると二人は真面目に働き始めたのでした。そして、二人は七夕の日に「再会」という願いが叶います。

そうそう! 女子たるものロマンティックな恋に憧れるよね~



島谷

一年に一度しか会えないけど、その願いの為に頑張ってるんだね! すこいな~



次女

すこいよね! ほんと、愛の力だよわ~



長女

二人のように、願い事がかないますようにと、私達も短冊に願い事を書きました。

今までは、短冊に願いを書いて終わりでした。今回子供達と一緒に飾り物にも一つ一つ、意味があること知り、学べたことがとても良かったです。私の願いはただ一つ、「こうして子供達といつまでも幸せが続きますように」

今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想どしどしお寄せください。お待ちしております。 件名: ニュースレター返信と入力して送信して下さい。

最新情報はこちらから ホームページ <https://daimyou.com/>
 有限会社 大名 広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp
 TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937

こんにちは。中堀明美です。

前号に引き続き今号では「天下三名槍：蜻蛉切」について語らせて頂きます。

ハチエモンの

タイムスリップ!

今号も目まぐるしい時代の変化の中、一介の家臣から大名に、そして、浪人生活を経て、大名に帰り咲いたこの方にタァ〜イムスリップ!

豊後国(現在の大分県)に最盛期には6カ国を領した大友家の重臣・吉弘鎮理(のちの高橋紹運)の長男として生まれた。

その後、父と同じく大友家の双壁であり、男児がいなかった立花道雪に才能を買われ、養子となります。800名弱で40,000人に

挑んだといわれる、武勇に優れ義理に篤い人物と云われた風神こと実父・高橋紹運。生涯百戦百勝したと云われる雷神こと養父・立花道雪。そんな

1586年(19歳の時)、九州統一を目指す島津家が、大友家を滅ぼす為に、4万とも5万ともいわれる大軍で北上してきます。

困った大友家は、九州征伐に動き出した豊臣秀吉に臣従します。前年に、養父・道雪が病死した影響もあり、大友家は劣勢に立たされます。

更に実父・紹運は、壮絶な徹底抗戦の末、800名弱の将兵全員と共に討ち死にをします。紹運との戦いで疲弊していた島津軍は撤退します。そこに宗茂が追撃をしかけ、数百の首級を挙げ、さらに2つの城を取り返します。

その後、秀吉の九州征伐の西部戦線の先鋒として次々に手柄を立て、筑後国柳川(福岡県柳川市)に13万2000石を与えられ、家臣から大名へと出世を果たします。

豊臣政権下でも、文禄・慶長の役(25歳の時)で大いに活躍をします。5万余りの朝鮮軍を4千の軍勢で撃退し、ある激戦では、甲冑・騎馬まで返り血で血まみれになり、刀が歪み、鞘に戻せなくなるほど大暴れをし「鬼神」「鬼将軍」「日本無双の勇将」と称えられます。約3万の明(現在の中国)・朝鮮軍に包囲され窮地に陥った日本軍は、打開策が見出せず連日作戦会議を行っていました。「評定(会議)のみに時間を割いても無駄でしょう!私が救援してきますっ!」と宗茂が、千の兵で夜襲を行い、見事日本を救いました。

関ヶ原の戦い(33歳の時)では、西軍に付いたことで改易され、一浪人になってしまいます。京都・江戸などで蟄居生活をします。ようやく1604年(37歳の時)、本多忠勝の推薦で、徳川家康の家臣となります。家康も宗茂の実力を知っていたので重宝され、大坂夏の陣での動向の予言を的中したり、徳川幕府への反乱事件を防いだりと活躍した事を評価され、1620年(53歳の時)旧領の柳川10万9200石を与えられました。

忠勝にとって蜻蛉切は相棒だったのでですね。

無傷で戦い抜いたのは持っているだけで自信が沸き、蜻蛉切りがあれば負けるはずがない!!と強気でいられたからではないでしょうか。晩年には体力が落ちた為、柄の寸法を現状の体力に合わせて短くして戦いやすくしていたそうです。

最後の最後まで一戦士であろうとする、忠勝の大和魂を感じました。(中堀)

関ヶ原で改易された武将で旧領に大名として復帰したのは、宗茂ただ一人だそうです。それだけでも、宗茂が優秀な武将だというのが伝わってきますね。日本無双、鬼将軍と呼ばれて怖そうなイメージになりますが、普段の宗茂は温厚な性格で、誰に対しても誠実な武将だったそうです。関ヶ原で改易される時も、領民たちから、最後の一人になるまで戦いましょう!と言われるほど、慕われていたそうです。旧領に復帰できたのも数々の活躍もありますが、その人柄によるところが大きいかもしれませんね。